シルバー
ふじえだ

平成23年9月5日
第46号
発　行
社団法人
藤枝市シルバー人材センター
藤枝市藤枝五丁目3番20号
☎054－641－5565
会員数　男 724名・女 407名
計　1,131名（7月31日現在）
印刷　株式会社石垣印刷

田中城下屋敷の歴史
語りべで活躍の会員

田中城下屋敷は、今から約五百年程前、今川氏の命を受けて田中城の築城を果たした豪族一色家の屋敷跡だともいわれています。

田中城の南東隅にあたり、江戸時代後期になると城主の下屋敷（別荘）が置かれ、築山、泉水、茶屋等を設けて四季の景色を楽しんでいたようです。現在でも緑豊かな庭園が広がり、月見の時には、琴の音が人々の心を和ませてくれています。

史跡には、県内外からも多くの歴史愛好家が訪れています。その案内役として、説明を担当しているのは、シルバー人材センターの会員で、通常八名の会員の方が、交代で説明と、管理を受けもっております。

広い駐車場も設置されておりますし藤枝市の歴史に触れながら散歩を楽しむのもいかがでしょうか。

（注・月曜日は休場日です）

高齢者の生きがい シルバーで働く喜び

藤枝市のご支援に感謝

藤枝市シルバー人材センター　理事長　大井市郎

第五十四回の総会が、多くの会員の皆様と、ご来賓として北村藤枝市長をはじめ、池田市議会議長、落合・佐野県議会議員のご臨席をいただき、盛会に開催できますことをお礼申し上げます。

この総会は、平成二十二年度を総括して、事業報告や収支決算のご審議お願いするものでありますが、藤枝市からはシルバーに対して、大変ご協力をいただいており、心から感謝申し上げます。

さて、ここ数年をふり返って見ますと、藤枝市のことだけではなく全国のシルバー人材センターにとって、厳しい年が続いています。

その原因は、わが国が長い経済不況からなかなか抜け出すことが出来ないこと、また、国・県等の事業仕分けなどによって、補助金の見直しが行なわれていることなどであります。

このようなシルバーを取り巻く環境が早く改善することを願い、全国の会員・百十五万人余の署名を添えて政府や関係省庁に要望書を提出し、高齢者支援の面からもわれわれの事業への理解と援助を強く要望いたしました。

さて、平成二十三年度は藤枝市シルバー人材センターの「中長期計画」がスタートします。

この計画は、私たちが共働・共助の理念をもって、平成三十二年度まで、十年間のシルバー人材センターを発展させる基本となるものです。

自らの生きがい・働く喜びを築くために、この計画を会員の皆様と共に推進したいと思います。

今後ともご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

第二次中長期計画

仕事が活力を生む元気なシルバー

第二次中長期計画は、本年度から平成三十二年度までの藤枝市シルバー人材センターが目指す基本構想です。

この十年計画の内容は、藤枝市政の基本方針である「元気なまち藤枝づくり」の一翼を担うもので、私たちシルバー会員の目標です。

私たち会員の一人ひとりがこの目標に向かって、自分の健康維持に努めながら、豊富な人生経験や知識・そして、多様な技術を活かし、地域社会に貢献しながら、生き生きとした人生を送り、会員としての自覚と誇りをもって、藤枝市シルバー人材センターの発展と、自らの幸せのために頑張りましょう。

第五十四回 通常総会

事業報告・収支決算や役員改選の議案を承認

第五十四回の通常総会が、六月十八日（土）に開催されました。

この総会では、平成二十二年度の事業報告と収支決算の承認のほか、平成二十三年度が役員の改選期でありますので、理事・監事を選任する議案や、平成二十四年四月から公益法人に移行するため、新たな体制づくりの議案などが提案され、いずれも原案どおり可決・承認されました。

また、シルバー人材センターの発展にご尽力いただいた役員に感謝状と、多年ご活躍いただきました会員の皆様の表彰を行ないました。

「事業報告」

前年度並みの実績確保

日本経済の本格的な回復や雇用環境の好転を期待していますが、景気の先行きは依然として厳しい状況が続きそうです。

更に年度末の三月に、東日本大震災に見舞われ、わが国全体が復旧・復興の大きな課題を担っています。

このように、平成二十二年度は大変な年でありましたが、事業実績は一部の仕事が減少したものの役員・会員の皆様の努力によって、前年度並みの事業実績となりました。

これからは、将来に向けて健全な財政運営を確立するために、歳入の確保・歳出の見直し・組織の在り方などについて「財政基盤安定化検討委員会」を設置して検討を行ない、会員の意識調査をもとに策定した第二次中長期計画を本年度から取り組みます。

公益法人への制度改革に向けて

平成二十四年四月に「公益社団法人」に移行するための定款改正など、制度改正の準備を行ない、県知事への許可

申請事務をすすめています。

この新制度の改正内容は、前回の総会で説明しましたが、会員の皆様のために、より活動に参加しやすい組織にすることが大切であり、そのために、今までの体制について見直しを行ないました。

改正した主な項目は、センターの厳しい運営状況などを改善するために、・会費の値上げ・発注者からいただく事務費率の改定・互助会への助成金の廃止・互助会の慶弔規程や役員の費用弁償規定の改定などを行ない、公益法人の基本理念にそって、平成二十三年度から実施していきます。

「活動の内容」

◆会員数

会員の増員については、就業の機会を開拓することに努めながら、入会説明会を毎月開催して、会員の拡大を図り年度末の会員数は、一千百十六名となっています。

◆就業機会の開拓と確保

高齢者に相応しい仕事を確保するために民間企業、自営業者等を訪問して、センターのPRと受注に努めました。

一年間の受注件数は、七千九百九十五件・会員の就業延日人数は九万六千九百五十二人でした。

また、未就業会員の相談会や無料職業紹介などを行ない就業の促進に努めました。

◆安全就業への徹底

会員一人ひとりの交通事故防止や、業務中の事故防止のために、安全適正就業研修会などを開催して安全意識の高揚を図りました。

◆事務事業の円滑な運営

会員と役職員が、専門委員会や班長会を開催して、全般的な事業運営の連携を密にする研修などを実施しました。

◆介護保険事業の推進

当センター内に、居宅介護支援事業所と訪問介護事業所を開設して、利用する家族に適した介護サービスを提供しており、シルバーだからこその安心感・きめ細やかな心くばりに配慮したサービスを提供しています。

事業の実績は、介護保険制度の改正やデイサービス施設の充実などにより、在宅介護から施設利用が多くなり、訪問する回数・件数は、やや減少しています。

◆福祉・家事援助のサービス事業

介護保険の対象にならない利用者の福祉・家事援助サービス事業を充実するために、会員の介護講習会や料理講習会を実施して、サービス内容の向上に努め、また、少子化対策として「子育て講習会」を開催して、有資格者の確保を図りました。

◆福利厚生

多数の会員が参加する事業として、会員互助会に委託して行なう親睦旅行や、サークル活動を実施しました。

☆　☆

そのほか、シルバーの円滑な運営を協議する各種の会議（理事会・専門委員会・班長会など）の開催や、シルバーのPR・会員とのコミュニケーションづくりの広報活動を実施しました。

◇会員互助会の総会◇

この総会に引続いて、会員互助会の第十七回定期総会を開催して、平成二十二年度の事業と決算の報告、そして平成二十三年度の事業計画と予算が承認されました。

地域産業を支えるシルバーの貴重な労働力

藤枝市長　北村正平

こんなに大勢の皆様がお集まりになり、総会が盛大に開催され、また会員のお元気な様子を拝見しまして、私も大変うれしく思っております。

皆様方には、常日頃から市政全般にわたり大変なご理解や県からの補助金が大幅に減らされました。しかし、藤枝市はシルバーへの援助は減らしません。

この考えは、本来ならば藤枝市も国や県に連動することが、今までの考え方ですが、皆様の事業は、生きがい対策・労働力の確保対策であり、地域産業の振興に大きく貢献している事業です。藤枝市が掲げている〝元気なまち　ふじえだ〟が目指す目的と同じであります。

会員一千人を超す底力のある藤枝市シルバーが、これからも健全な運営に努めていただくことを期待して、支援したいと考えています。

なお、この度の東日本大震災での被害は甚大で、一日も早い復興を願っておりますが、当地静岡には、東南海地震の恐れと共に、浜岡原発から三〇粁圏内にあることから、志太・榛原・中遠地域などの首長が集まり、地域住民の安全、安心を協議して国や保安委員会などに、防災対策を強く申し入れていく事を考えています。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご健康を切にお祈り申し上げます。

皆様方、頑張って下さい。とご協力をいただき、そして、シルバー事業で活躍されておりますことに、心から敬意を表します。

先程、大井理事長から国・県の事業仕分けで、シルバーの運営費が削減されたことを話されましたが、藤枝市も国

栄えある永年会員表彰

おめでとうございます

大石鈴男 様
池谷福治 様
成岡久仁治 様
小澤まさ江 様
永田正己 様
大石定江 様
土岐和子 様
穂積周作 様
濱田よし江 様
前島たね 様
田中金次 様
立石清子 様
杉山正一 様
宮内孝幸 様
清水きみ子 様
杉山 遜 様
杉本一夫 様
栗田たま 様
佐藤ジツ枝 様
富岡 隆 様
望月光平 様
浦田つぎ 様
大井理事長
小泉勉子 様
有ケ谷けい 様
長谷川四郎 様
澳塩孝之助 様
池田政弘 様
鹿川 英 様
永野英男 様

会員表彰を受けて

お礼のことば

富岡 隆 様

薫風かおる本日、ここに永年勤続者として表彰を頂きました。四十六名を代表致しまして、一言お礼の言葉を申し述べます。

振り返ってみますと、急激な社会の変化と高齢化の波の中で現職を引退し、第二の人生の竿頭に立ちました時、戸惑いと一抹の不安を覚えたものであります。

そのような時、知人に誘われシルバー人材センターに入会しました。

事務局から仕事を紹介されご支援、ご指導と共に励ましの言葉を頂き、新たな仕事に取り組むことが出来ました。

また、様々な人生を過ごされてこられた、先輩、後輩の方々と語らい、趣味を共にし友人となり、新たな人生観、価値観を発見し、充実した第二の人生を送ることが出来ました事は、シルバー人材センターに入会した賜物と感謝しております。

また仕事を通して、ささやかながら社会に貢献が出来たものと自負しているところでもあります。

終りに際しまして、今後共シルバー人材センターの益々の発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして簡単ではありますがお礼のことばと致します。

出席できなかった方々

小塚 今佐雄 様
西脇 昭彦 様
菊川 政志 様
桜井 忍 様
柴田 禧四郎 様
釜ヶ谷すみ江 様
芹澤 一枝 様
岡崎 勝己 様
石田 昌己 様
薗田 敬二 様
鈴木 輝雄 様
大西 三郎 様
櫻井 静代 様
橋本 千代 様
大久保 四郎 様
大塚 久子 様
佐藤 宏江 様

新しい委員会の紹介

当センターの事業を推進するために、様々な課題に対して具体的な解決策を検討協議する機関として、理事会の下に八つの専門委員会が設置され、それぞれの事業を効率的に実施してきましたが、本年度からは、この専門委員会を三部門に統合して、より迅速・的確な事業運営を図ることといたしました。新委員会は、次のとおりです。

＊

◎事業推進委員会

当センターの基本構想・基本計画を定めた「中長期計画」の進行管理、就業の開拓、独自事業の検討、就業相談などを担当します。

＊

◎普及啓発委員会

シルバー事業の理解と協力を推進する広報活動、会員の拡大事業などを担当します。

＊

◎安全・適正就業委員会

高齢者の社会参加で、最も大切な安全就業の活動に努力して、そのために安全意識の高揚・事故の防止に資する事業を担当します。

専門委員会を再編

事業推進委員会

委員長　岸本孝夫

シルバー人材センターは、会員の就業の機会を増やし確保して、未就業会員を解消することが、事業の根幹だと考えております。

平成十四年～平成十六年度をピークに、就業、受注件数とも減少傾向にあり、特に公共機関からの受注は、行財政改革に伴う予算の削減等により減少しております。

センターの基本理念である「自主、自立」に沿った事業運営を行うべく、会員の協力を得て「いつでも、どこでも、だれでも」シルバー事業に参加できる体制を維持し事業の拡大を図ってまいります。

当委員会としては、以下の重点目標を掲げ事業を推進します。

▼就業機会拡大への取り組み

・就業開拓専門員の充実強化
・役員・会員による就業開拓
・新規事業・既存事業の確保
・会員相談日の充実

▼シルバー派遣事業への対応

・理事会専門委員会での研修会の開催
・先進シルバーの実情調査

▼介護保険事業、福祉、家事援助サービス事業、子育て支援事業の拡大

以上、会員の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

普及啓発委員会

委員長　原田昌宏

この度、今までの「機関紙広報委員会」から「普及啓発委員会」と名称が変りました。これからは広報紙の編集発行だけでなく、シルバー人材センターの存在をあらゆる機会を通して社会に知らしめる。会員に向っては「自主・自立・共働・共助」の理念を基本に組織のより強い連帯感を図る。そのための具体的な方策を企画立案する。以上がおおよそ私たちに課せられた仕事だと考えています。

広報紙が組織の普及啓発に果たす役割は重要ですので、さらに紙面の充実に努めます。会員の皆様の積極的な投稿を期待しています。

さらに普及啓発を推し進めるには媒体が必要です。広報紙はその一つですが、他にはイベントがあります。効果的なイベントを企画し実行することです。一千百余名の会員の中には、卓越した技能や多彩な趣味を持った人も大勢います。その貴重な体験や〝技〟を結集した「文化芸術」のイベントなど考えたいと思います。

安全・適正就業委員会

委員長　小柳津茂弘

五体の散歩を楽しもう!!

人生の折返しを過ぎて尚、元気に活躍中の皆さんは、体力維持の為に散歩をされている方は多いと思いますが、五体の散歩と云う言葉をご存知？足腰のみでなく手も口も頭も働かすことです。

藤枝ＳＣでの活動中に手で色々な物を作り運び、頭でその使途を段取りしたり、判断し想像する。この一連のふれ合いの中で出来た仕事仲間、趣味仲間とのおしゃべりで、口の散歩を楽しむ。頭も体も使わなければどんどん錆びてしまう年齢です。会員の皆さんには「健体康心」心と体の両方を整えることで、元気になって頂き、藤枝ＳＣで大いに活動されることを願っています。

安全委員会では活躍する会員の皆さんを側面から支える意図で、本年も安全パトロール、広報等に標語類の掲出、交通安全講習会、事例研修会等を計画し、会員の皆さん一人一人が安全就業できる環境整備に向けて、普及啓発活動に努めたいと考えております。

やれば出来る
無事故は小さな努力の積重ね

委員会委員名簿

◎事業推進委員会

委員長　岸本　孝夫
副委員長　鶴崎美智博
　　大井　市郎
　　朝比奈利幸
　　大谷　久子
　　松下　重雄
　　大石　雅巳
　　増田　達郎

◎普及啓発委員会

委員長　原田　昌宏
副委員長　三宅　博
　　松井　芳朗
　　飯田正次郎
　　川添　通人
　　栗田　健吾
　　増田久美子

◎安全・適正就業委員会

委員長　小柳津茂弘
副委員長　西脇　力
　　杉森　忍
　　鈴木　善一
　　澤本　鎗平
　　相馬　賢三
　　村越　祝広

平成23年度　組織図及び連絡網

（H23.7.31現在）
会員数 1,131名

理事長
大井　市郎

副理事長
松井　芳朗

常務理事
増田　達郎

理事
朝比奈利幸
飯田正次郎
大谷　久子
小柳津茂弘
川添　通人
岸本　孝夫
栗田　健吾
杉森　　忍
鈴木　善一
鶴﨑美智博
原田　昌宏
増田久美子
松下　重雄

監事
大石　雅巳
三宅　　博

地区長 班長会

事務局長
増田　達郎

事務局職員
八木　清　村越　祝広　茂川美代子
仲田　益子　村松　正行　望月　孝子
森　紀子　小林　睦恵　佐久間　清
廣住　光男　伊東　照代　小長井博文
小松　和雄

	地区長（13名）	班長（83名）	会員
瀬戸谷	小田　重雄	1班　小田　重雄　2班　平口　勝朗	12名
稲　葉	飯塚　茂司	1班　原田　昌宏　2班　飯塚　茂司	22名
葉　梨	門戸　清治	1班　門戸　清治　2班　森下鉛一郎 3班　杉本　幹男　4班　田端　正義 5班　小島　節江　6班　森谷　亮治 7班　池野　勝夫　8班　北村　誠治	121名
広　幡	前山　二郎	1班　太田　勝己　2班　下嶋　三郎 3班　前山　二郎　4班　八木　元一 5班　酒井　正夫	68名
西益津	大沼　次郎	1班　種本　脩幸　2班　増田　恵一 3班　木野　　淳　4班　大沼　次郎 5班　南條亀與志　6班　西形　貫之	91名
藤枝東	角　幸雄	2班　八木　七郎　3班　由比藤　仁 4班　望月　広幸　5班　勝　　慧 6班　小澤　正吉　7班　深沢　正義 8班　角　幸雄	101名
藤枝西	野川　勲	1班　長谷川四郎　2班　野川　勲 3班　山本　恵久　4班　田口　弘道 5班　村田　裕司　6班　向島陽太郎 7班　増田　弘子　8班　笹野　教次 9班　田中　稔　10班　岡本　邦雄	136名
青島北	佐野　友信	1班　加藤　昭二　2班　田中　金次 3班　佐野　友信　4班　夏賀　夘吉 5班　阿井　清　6班　松井　博 7班　大脇　融　8班　成岡久仁治 9班　下平　保芳　10班　増田つぎ江 11班　高桑　茂　12班　小松原敬三	168名
青島南	岩本　孝一	1班　渡辺　昭也　2班　磯部　好郎 3班　藤田　征司　4班　一藤　正義 5班　岩本　孝一　6班　西澤　敏明	88名
高　洲	穂積　周作	1班　紅林　卓夫　2班　城倉　兼男 3班　穂積　周作　4班　萩原　東一 5班　大西　三郎　6班　千葉　穏志 7班　中津山幸治　8班　小澤　清二 9班　妻木ときゑ　10班　村上テイ子 11班　大関　士郎	170名
大　洲	横井　進	1班　平野　立夫　2班　槻　富美雄 3班　横井　進　4班　内藤　廣 5班　大島　明夫　6班　森　はるえ	66名
岡部南	水野　計二	1班　水野　計二　2班　永田　正己 3班　椙山　貞夫　4班　長谷川俊次 5班　牛山　弘	50名
岡部北	鈴木　善勝	1班　池田　章　2班　平野　利勝 3班　鈴木　善勝	38名

食中毒から身を守ろう

茂川美代子

今年は、春先から牛肉のコロッケを食べて「O－111」や、野菜による腸管出血性大腸菌「O－104」によって、ドイツなど外国で多くの人が亡くなりました。

最近の食中毒は、夏場だけでなく、一年を通して発生しています。

この原因を大きく分けますと、細菌・ウイルス・自然菌などです。

腸管出血性大腸菌の「O－157」などの食中毒のピークは五月～九月で、高温多湿を好み、気温が低く乾燥する冬は「ノロウイルス」による食中毒が発生しやすくなります。

★細菌による食中毒

◎カンピロバクター

鶏や豚、牛などの腸にいる細菌。加熱の不十分が主な原因。菌で、体内に入ると2日～7日位で発熱・腹痛・下痢・吐き気などの症状が現れます。

◎腸管出血性大腸菌

O－157。主に牛の腸にいる菌でカンピロバクターと同じ症状が現れます。

◎サルモネラ菌

加熱不足の卵、鶏肉、魚介類から感染します。

◎黄色ブドウ球菌

人の皮膚や鼻、口の中、髪の毛などから感染します。

◎腸炎ビブリオ菌

海水にいる菌で、夏場未加熱の魚介類や刺身、シラスなどから感染する。

★ウイルスによる食中毒

◎ノロウイルス

牡蠣などの貝類が原因。感染した人の糞便や嘔吐物などから感染します。

★自然毒による食中毒

◎植物・動物性自然毒

植物性では90％は毒キノコが原因です。動物性ではフグや貝毒です。

食中毒予防の三原則

食中毒菌を付けない（清潔）増やさない（迅速・低温保存等）殺す（加熱・消毒）きちんと守れば予防できます。

食中毒予防の6ポイント

①手洗い

②冷蔵庫は10度以下、冷凍庫はマイナス15度以下で保存

③下準備の注意点

・台所のゴミ捨て、タオルやふきんを清潔に。

・よく手洗いをする。

・生肉や魚を切った後の包丁、まな板はよく洗う。

④調理方法

・加熱調理は中心部が75度で一分以上過熱。

⑤食事の注意点

・清潔な手で器具・食器に盛りつける。

・温かい料理は65度以上、冷たい料理は10度以下に。

⑥残った食品の保存方法

・残った食品はきれいな器具、皿に保存。

・時間が経ち過ぎたら、思い切って捨てる。

新職員紹介

4月からお世話になっております、事務局長の増田です。

高齢化社会を迎える中で、シルバー人材センターの果たす役割は重要です。

微力ではありますが、現下の厳しい環境を踏まえ、当センター事業の発展のため最善の努力をしてまいります。皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎事務局長

増田　達郎

◎臨時職員（開拓専門員）

小松　和雄

入会希望者説明会のお知らせ

シルバー人材センターでは、入会を希望する方のために、左記のとおり、毎月1回説明会を開催しております。

【シルバーに入会するには】

この説明会を必ず受けていただく必要があります。

説明会を受けた後に、入会するかどうか判断していただいています。

シルバーに興味のある方、入会したいと思われる方は、お気軽に事務局へお問い合わせください。

お申込みいただくと、あらためて説明会のご案内をお送りします。

＊　＊　＊

申し込み方法

（次のいずれかで）

電　話　641－5565

FAX　641－8816

直接窓口へ

申込み資格

藤枝市内に居住する60歳以上の方

開催日　事務局にお問合せください。

時　間　午後1時30分～4時

会員相談日のお知らせ

会員就業率の向上を目指し「就業の斡旋」「就業上の困り事」「その他要望」など役職員が相談に応じています。お気軽においで下さい。

◇

開催日　毎月第3水曜日

時　間　午前10時～11時30分

午後1時～3時30分

問合せ　641－5565

事務局村松まで

講習会のご案内

造園緑化サービス

樹木剪定の基礎知識及び道具の扱い方などの実習

藤枝市10月18日～10月26日

＊　＊　＊

障子・襖の張り替え

12月に開催予定、11月に事務所までお問合せ下さい

この人この技

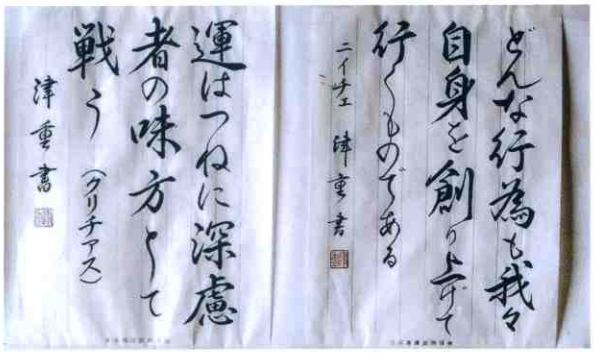
皆さんはアンチエージングという言葉をご存じでしょうか。人間は、誰でも歳をとります。それは避けられないことですが、加齢による負の現象、即ち老化は、個人の努力によって遅らせたり、逆行させることが出来る。そうした考え方がアンチエージングで医学でも「抗老化医学」として位置づけられています。

そうしたアンチエージングを実践し、八十六歳という年齢を感じさせない若々しさで充実した毎日を送っている私たちの先輩がいます。「**平井つぎ**」さん（写真）です。

「平井つぎ」さんは、シルバー互助会書道部に平成八年に入会し、日々書の道に励みました。天賦の才能が開花して先年、得意の細字部門（写真）で『名人』の称号を所属する書道団体より授与されました。現在は、後進の指導のかたわら、さらに最高位の『達人』を目指して研鑽を怠らないとのことです。

さらに、「平井つぎ」さんは書道だけではなくゲートボールにも関わり、協会役員として精力的にその普及指導に当たっていると聞いています。

「健康である限り人様のお役に立ちたい」これが「平井つぎ」さんの生活信条であり、丈夫な体に生んでくれた両親への感謝と祖先への崇拝の念を絶えず持ち続けている「平井つぎ」さん。次なる飛躍へ向けて大きな拍手をおくりたいものです。



▶平井つぎさん渾身の細字作品

シルバー文藝

俳句

藤枝東　松井　余白

賛　田中城・下屋敷

。下屋敷佳き松の枝に今日の月
。学舎に古城の堀や花薄
。俯瞰図に亀城の形稲の秋

藤枝西　楮邨

。秋立つや「蟹工船」を
　読み終えて
。天高く合格の報に祝い酒
。愛妻のひざ枕して夏の午後

稲　葉　恒心

。大花火闇に余韻の流れ来し
。結願の古刹山道にカンナ炎ゆ
。地鎮祭　禰宜に残暑の
　惜しみなく

事務局からのお知らせ

シルバーの耐震工事で駐車場の利用制限

八月から来年一月末日までの工期で、事務所の一部解体工事を行なうため、この間の駐車台数が制限されて、皆様にご迷惑をお掛けいたします。

なお、駐車場は蓮華寺池公園駐車場（西高跡地）をご利用ください。

会員親睦旅行

11月19日（土）
行先　昇仙峡紅葉見物と
　　石和温泉
＊ふるってご参加を！

あとがき

東日本大震災から半年近く月日は容赦なく過ぎてゆきます。藤枝市では、今年も例年どおり蓮華寺池公園の花火大会、各町内会の納涼盆踊りが行われました。改めて平穏な日常が如何に尊いものであるかを身に沁みて感じた夏でした。被災地の一日も早い復興、復旧を祈るばかりです。

さて、「シルバーふじえだ」46号発行の運びとなりました。今号から表紙を飾る写真には「施設で働く会員たち」を取り上げ、施設のPRも兼ねて働く会員たちの活き活きとした姿をシリーズで掲載します。また、この度、センターの事業運営をより効果的に推進するための一部組織の改変が行われましたが、その詳細についての記事も取り上げました。

なお、毎号お願いをしておりますが一ページは会員の「ふれあいサロン」として紙面を開放したいと考えています。短歌、川柳、俳句、写真、エッセー、似顔絵などなど記名・匿名を問わずお寄せください。

秋茄子の刺のするどき
　夕支度　恒心